



# T C A

1992～2012

## 20年の あゆみ

2013.5

富山市民国際交流協会



# 会長あいさつ



会長  
犬島 伸一郎

富山市民国際交流協会は、このたび、市民をはじめ会員や国際交流・協力団体など関係の皆様  
の力強いご支援ご協力の下に、設立20周年を迎えることができました。

平成5年に設立されて以来、ともに生活する外国人を身近に感じることのできる「国際交流」と、  
在住外国人の支援を軸とした「多文化共生」、それから市民交流の原動力となるよう「国際感覚豊  
かな人材の育成」の三つの事業をバランスよく展開してまいりました。

一つは、「国際交流」の推進です。

富山市民と諸外国の人々との友好親善の絆を確かなものとするためには、人と人の交流の輪を広  
げ、深めていかなければなりません。これまで16年にわたり「異文化理解と交流」を深めることを  
目的に開催している国際交流フェスティバルには、毎年約6千人の方が参加し、世界の人々との友情  
を育んでいます。また、富山まつり「越中おわら踊り」への参加や日本伝統文化の紹介、料理交流会、  
ホームステイ・ホームビジットなどを通じて、市民が主役の国際交流は広がっています。

二つは、「多文化共生」の地域づくりです。

協会が設立された当時は、富山市に暮らす外国人は約3千人でしたが、今や5千人を超える皆さ  
んが生活されております。外国人と地域の日本人がともに理解と信頼を深め生き生きと暮らせるよう、  
日本語学習支援事業の実施や外国籍児童・生徒への学習支援（勉強お助け隊）に取り組んできま  
した。

とりわけ、日本語の分からない方々への多言語による市民相談・情報提供に取り組んできました  
が、あの東日本大震災以降、総合防災訓練に対する外国人の関心が高まり、外国人とともに生き  
る交流の大切さを私たちに改めて気づかせてくれました。

三つには、「国際感覚豊かな人材の育成」です。

市民による海外訪問団を、姉妹友好都市又は現地団体との友好親善と異文化理解のため派遣す  
るとともに、姉妹友好都市からの訪問団の受け入れを行い、市民交流の原動力となるよう努めてい  
ます。

当協会といたしましては、これから始まる次の10年に向けて、協会の設立された趣旨を尊重し、  
三つの事業を更に進めていきたいと考えておりますので、今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い  
申し上げます。

# 「富山市民国際交流協会」設立20周年に寄せて



富山市長  
森 雅志

このたび、富山市民国際交流協会が設立20周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、富山市民と諸外国の人々との相互理解を深めるとともに、教育・文化・スポーツ・産業・経済等の広範な分野まで国際交流活動を推進し、国際感覚豊かな人材の育成等に寄与することを目的に平成5年1月の設立以来、本市の国際交流事業を推進する中心的組織として、発展を遂げておられますことは誠に喜ばしく、ご同慶に堪えない次第です。

これも偏に、犬島会長をはじめ、歴代の会長や会員の皆様、並びに関係者の皆様方の弛まぬご努力の賜物であり、心から感謝の意を表します。

また、国際交流に関する団体、機関、企業や市民の参加のもと、ボランティア精神にのっとり、市民レベルの国際交流事業を積極的に展開されるとともに、行政と手を携えて国際交流に尽力されることにより、国際色豊かな魅力ある本市のまちづくりにも寄与されておりますことに、改めて敬意を表する次第です。

今日、日本社会は国際化が進み、富山市で生活している外国人住民は約5千人となり、貴協会設立当時と比べても2千人以上増加している中、各々の国や民族の文化を尊重しながら、一市民として相互の信頼関係を築き、ともに安心して生活することのできる環境づくりを進めていくことはとても大切なことであり、貴協会の果たす役割はますます重要になってきております。

本市といたしましては、今後も貴協会とともに姉妹友好都市をはじめ、諸外国や市内に在住している外国人住民との交流を積極的に進めるとともに、外国人住民にも生活しやすいまちづくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会のますますのご発展と、会員各位がご健勝でより一層活躍されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

# 目 次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 協会のあるまし .....         | 1  |
| T C A 2 0 年のあゆみ ..... | 2  |
| 多文化共生の推進 .....        | 4  |
| 委員会活動 .....           | 6  |
| 国際交流・国際協力 .....       | 8  |
| 国内外研修について .....       | 10 |
| 富山市の姉妹友好都市について .....  | 12 |
| 関係者のメッセージ .....       | 13 |
| 富山市民国際交流協会規約 .....    | 15 |



## 富山市民国際交流協会 シンボルマーク

富山発…

21世紀の時代に、国際親善が進んで平和な世界になるように多くのメッセージを送りたい。立山と雪は富山をイメージしています。

そして、地球…

垣根を越えて理解しあい、交流を深めて、お互いに協力して助け合おう。

— みんな地球家族です。 —

# 協会のあらまし

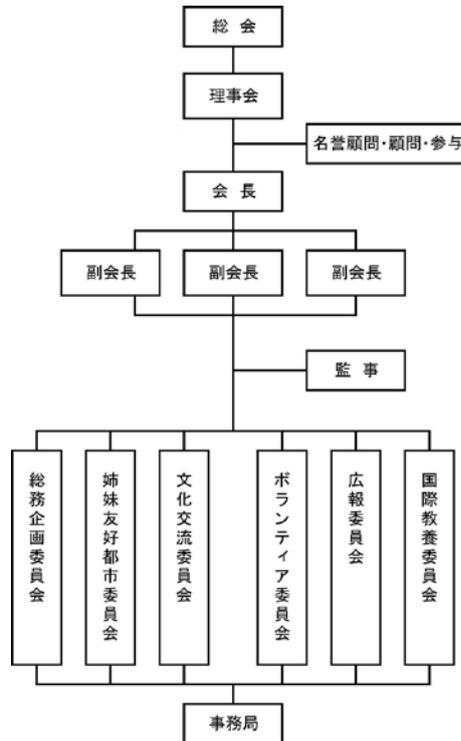
## 設立目的

富山市民と諸外国の人々による友好親善を基調として、教育、文化、スポーツ、産業経済等の広範な国際交流を推進し、国際感覚豊かな人材の育成と国際化に対応したまちづくりを図り、もって富山市の発展に寄与することを目的とする。

## 概要

- 1 設立時期 平成5年1月13日
- 2 事業内容
  - (1) 姉妹友好都市との市民交流事業
  - (2) 国際交流に関する事業の計画及び実施
  - (3) 国際交流に関する情報の収集・提供及び調査研究
  - (4) 国際交流団体との連携及び協力
  - (5) 国際交流ボランティアの育成
  - (6) 市民の国際交流活動への支援
  - (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

## 組織図



## 所在地

### 富山市民国際交流協会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号

富山駅前 CiC ビル3階

TEL 076-444-0642 FAX 076-444-0643

(富山市国際交流センター内)



# TCA 20年のあゆみ

| 年 度  | 事 業 内 容   |
|--|---|
| <b>平成 4 年度</b><br>(1992)<br><br>設立総会      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1月13日富山市民国際交流協会設立総会（富山市民学習センター）</li> <li>● 3月16日 理事会</li> <li>● 専門委員会 5 委員会で発足<br/>（総務企画、姉妹友好都市、国際交流、ボランティア、広報委員会）</li> </ul>                                |
| <b>平成 5 年度</b><br>(1993)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門委員会委員長会議</li> <li>● T C A - N E W S 創刊号発行</li> <li>● 「国際交流担い手シンポジウム in 富山」</li> <li>● 国内研修開始（大垣市）</li> <li>● モジ・ダス・クルーゼス市へ衣類寄贈</li> <li>● 春節交歓会</li> </ul> |
| <b>平成 6 年度</b><br>(1994)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活情報ガイドブック作成</li> <li>● 海外研修開始（ダーラム市）</li> <li>● 東アジア国際交流フェスティバル</li> <li>● 北陸都市国際交流連絡会総会・研修会</li> </ul>   |
| <b>平成 7 年度</b><br>(1995)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門委員会の名称変更・新設<br/>（総務企画、姉妹友好都市、地域交流、ボランティア、広報、国際・教養委員会）</li> <li>● とやま国際フェアに出展（姉妹都市コーナー）</li> </ul>  |
| <b>平成 8 年度</b><br>(1996)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新春国際交流のつどい（春節交歓会を改称）</li> </ul>  |
| <b>平成 9 年度</b><br>(1997)<br><br>5周年記念   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 協会設立 5 周年記念式典（とやま自遊館）</li> <li>● 国際交流フェスティバル（東アジア国際交流フェスティバルを改称）</li> <li>● 地図で歩く世界の旅</li> <li>● 外国人お嫁さん交流会</li> <li>● ボランティアによる日本語支援</li> </ul>             |
| <b>平成 10 年度</b><br>(1998)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山まつり「越中おわら踊り」に参加</li> </ul>   |
| <b>平成 12 年度</b><br>(2000)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門委員会名称変更（地域交流委員会が文化交流委員会に変更）</li> <li>● 家族会員新設</li> </ul>   |
| <b>平成 13 年度</b><br>(2001)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● J I C A 青年招聘事業（中国青年受入）</li> </ul>  |
| <b>平成 14 年度</b><br>(2002)<br><br>10周年記念 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 協会設立 10 周年記念事業（富山国際会議場）</li> <li>● ホームページによる情報提供開始（日本語、英語、中国語、韓国語）</li> <li>● クロアチア代表チーム富山キャンプを支援（2002 ワールドカップ サッカー）</li> </ul>                              |
| <b>平成 15 年度</b><br>(2003)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ポスターの街とやま・国際交流ポスター展に出展</li> <li>● 協会事務局富山駅前 CiC ビルへ移転</li> <li>● 移転記念国際文化祭</li> </ul>  |

| 年 度  | 事 業 内 容   |
|--|---|
| 平成 16 年度<br>(2004)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 会議室の一般開放</li> <li>● ダーラム市パビリオン建設支援金募集</li> </ul>   |
| 平成 17 年度<br>(2005)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 姉妹都市コーナーにウエリントンカウンシルコーナー新設</li> <li>● 外国籍児童のための「勉強お助け隊」</li> <li>● 協会多言語版パンフレット作成（日・英・中・韓・ポ）</li> <li>● 災害（語学）ボランティア養成講座</li> </ul>  |
| 平成 18 年度<br>(2006)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山市総合防災訓練に参加（婦中スポーツプラザ）</li> <li>● 中国人女性情報交換の場「月季（ばら）の会」</li> <li>● 中国人のための日本の習慣を知る日本語クラス</li> <li>● 高校生のための通訳ガイド（英語）入門夏季集中講座</li> </ul>   |
|  <p>防災訓練</p>      |   |
| 平成 19 年度<br>(2007)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 在住日系南米出身者情報交換の場「エンコントロ（南アメリカの会）」</li> <li>● 多文化共生語学ボランティア入門講座（日・英・中・韓・ポ）</li> <li>● 「北陸都市日々の実践活動をネットワークする研究会 in 北陸都市」参加</li> <li>● 保育園児との交流「世界の人はみんなお友達」</li> </ul>  |
| 平成 20 年度<br>(2008)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際交流 TCA カレッジ「日系人ブラジル移民 100 周年記念お話 &amp; ブラジルを楽しむ」</li> <li>● 日系ブラジル人就職支援のための集中講座</li> <li>● 私たちの活動説明会</li> </ul>  |
|  <p>活動説明</p>     |   |
| 平成 22 年度<br>(2010)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災マニュアル・避難マップ作成（日・英・中・韓・ポ）</li> </ul>  |
| 平成 24 年度<br>(2012)   | <p>&lt;継続中の事業&gt;</p> <p>1 多文化共生事業</p> <p>(1) 国際交流事業</p> <p>国際交流フェスティバル・新春国際交流のつどい、<br/>富山まつり「越中おわら踊り」</p> <p>(2) 日本語学習支援事業</p> <p>(3) 外国籍児童のための「勉強お助け隊」</p> <p>(4) 総合防災訓練・災害ボランティアネットワーク会議参加</p> <p>(5) 多文化共生語学ボランティア入門講座</p> <p>(6) 個別相談、月季（ばら）の会・エンコントロによる情報交換</p> <p>(7) 私たちの活動説明会による協会 PR</p> <p>(8) 北陸都市国際交流連絡会、富山県多文化共生連絡会議、<br/>富山県留学生等交流推進会議参加</p> <p>2 語学講座</p> <p>中国語初級、韓国語入門、韓国語初級、韓国語中級、<br/>ポルトガル語入門</p> <p>3 委員会活動</p> <p>(1) 総務企画委員会（国内研修、国際交流 TCA カレッジ）</p> <p>(2) 姉妹友好都市委員会（海外研修、姉妹友好都市との交流）</p> <p>(3) 文化交流委員会（日本伝統文化の紹介、交流会、もっと知ろう<br/>世界のくらし）</p> <p>(4) ボランティア委員会（料理交流会、ホームステイ・ホームビジット）</p> <p>(5) 広報委員会（TCA - NEWS 発行、ホームページによる情報提供）</p> <p>(6) 国際教養委員会（一般研修講座、ディスカバー富山）</p> |
|  <p>フェスティバル</p> |   |
|  <p>新春のつどい</p>  |   |
|  <p>富山まつり</p>   |   |
|  <p>日本語学習</p>   |   |

# 多文化共生の推進

## 多文化共生社会とは？

国籍、民族等の異なる人々が、互いの文化的背景の違いを認め、人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きる社会のことです。

当協会では、外国人住民も地域社会の構成員として支援を受けるだけでなく、言葉・国籍・文化の違いに関係なく、外国人住民と地域の人々が相互に理解と信頼を深め、尊重しあい、誰もが自分の個性と能力を充分に発揮し、いきいきと暮らせる地域づくりを目指して事業を行なっています。

## 1 国際交流事業

### (1) 国際交流フェスティバル

広く一般市民に対して、国際交流・国際協力団体等の参加を得て、国際交流及び国際協力に関する活動状況や各種情報などをPRする。

また、各国の民俗芸能・衣装・遊び・食文化、日本伝統文化の紹介等を通じて多様な異文化の相互理解と交流を深める。



国際交流フェスティバル

### (2) 新春国際交流のつどい

「日本文化（お正月）の体験と交流」を深めるため開催している。諸外国の人々と日本人がともに新春を祝うとともに、ステージでの歌やゲームなどを楽しみながら親睦と交流を深める。



新春国際交流のつどい

### (3) 富山まつり「越中おわら踊り」

全国的にも有名な富山を代表する「越中おわら」の輪踊りに参加している。



富山まつり「越中おわら踊り」

## 2 日本語学習支援事業

### (1) 日本語ボランティアによる外国人への日本語学習クラス

### (2) 日本語夏季集中講座

### (3) 日本語ボランティア登録者研修

日本語ボランティア指導力の維持向上のため、情報交換等研修を実施している。



夏季日本語集中講座



日本語ボランティア登録者研修

## 3 外国籍児童・生徒への学習支援事業（勉強お助け隊）

外国人児童・生徒（小・中学生）に、日本語や学校の勉強のサポートをしています。



勉強お助け隊

## 4 防災のための体制作り

- (1) 語学ボランティアの養成
  - ① 災害語学ボランティア養成講座  
平成 17 年度から 19 年度  
英 語 平成 17 年度  
中国語 平成 18 年度  
韓国語 平成 19 年度
  - ② 多文化共生語学ボランティア入門講座  
平成 19 年度から現在まで実施
- (2) 外国人対象啓発活動（講座等）
- (3) 防災マニュアル・マップの作成と配布
- (4) 富山市総合防災訓練への参加
- (5) 富山市災害ボランティアネットワーク会議へ参加



総合防災訓練



防災マニュアル・マップ

## 5 多文化共生語学ボランティア

外国人と日本人のコミュニケーションサポートのため、語学ボランティア養成入門講座開講

※ 在住外国人多文化共生語学ボランティア登録者制度を設けている  
<言語> 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語



多文化共生語学ボランティア入門講座

## 6 相談事業

- (1) 相談業務
- (2) 翻訳・通訳業務
- (3) 交流支援
- (4) 月季（ばら）の会
- (5) エンコントロ（南アメリカの会）他



月季（ばら）の会



エンコントロ（南アメリカの会）

## 7 情報提供

ホームページ、新聞や雑誌の閲覧、図書貸し出し他

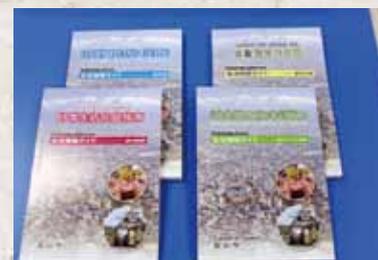
## 8 地域等の事業への支援

生涯学習サークルや各種団体からの講師派遣依頼を受けて、外国人相談員や富山在住の外国の方々を紹介しています。より多くの方に文化や習慣の違いを知ってもらい、多文化共生の理解へとつながるよう支援しています。

## 9 生活情報ガイドブック

言葉、文化、生活習慣などが違う在住外国人の皆様に、1日も早く富山市で快適な生活を送っていただけるよう、平成 2 年に初めて作成しました。日常生活にかかわりの深い最新の情報を幅広く載せるよう、必要に応じて版を重ねています。

<言語> 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語



生活情報ガイドブック

# 委員会活動

## ＜総務企画委員会＞

国際交流に関する資料の収集・情報提供や調査研究を行うとともに、市民の国際交流活動への支援をしています。

### (1) 国内研修

国際交流等に活発に取り組むため、先進県を訪問し交流を通じて意見交換など会員相互の研修を図っています。

### (2) 国際交流TCAカレッジ

国際社会の中での国際協力や国際情勢の情報など、国際交流に必要な知識を身につけるため開催しています。

### (3) 関係国際交流団体総会等への参加



国内研修



国際交流TCAカレッジ

## ＜姉妹友好都市委員会＞

### (1) 海外研修

姉妹都市または現地の団体等と親善交流を図るため、海外事情の知識習得と異文化理解を深めている。

### (2) 姉妹友好都市との交流

富山市は、ブラジルのモジ・ダス・クルーゼス市、中国の秦皇島市、米国のダーラム市、オーストラリアのウエリントンカウンシルと姉妹友好都市の提携をしています。

当委員会では、姉妹友好都市の市民と富山市民との交流を深める架け橋の役目を果たすため、姉妹友好都市等へ訪問団を派遣したり、海外都市からの訪問団を招いて歓迎会を開いています。

今後、20周年を契機に姉妹友好都市に限らず、世界各国の人たちとの交流を深めるため、海外研修視察を実施してまいります。



海外研修



協会表敬訪問

## ＜文化交流委員会＞

活動を通し、楽しく遊びながらそれぞれの異文化を理解することができます。

### (1) 日本伝統文化の紹介

外国人に茶道・華道・書道・工芸等の体験を通して日本伝統文化を紹介しています。

### (2) 交流会（日帰り交流会、スポーツ交流会）

近郊の街を歩いて文化遺産や街並みを見学したり、一緒にスポーツをします。

### (3) もっと知ろう世界の暮らし

外国人に、母国の日常生活に密着した暮らしを紹介していただいています。



華道体験



日帰り交流会

## <ボランティア委員会>

ボランティア委員会では、日本人と結婚された外国からのお嫁さん達に、日本の文化を知って体験してもらうため料理交流会や、ゆかたの着付け教室などを開催しています。

楽しく交流しながら、知らないことを気づき合いお互いに学び合う中で、新しい発見があります。

今後、もっとボランティア委員会のメンバーを増やして、いろいろな活動をしていきたいと思っています。

- (1) 交流会（料理交流会、ゆかた着付け教室）
- (2) ホームステイ・ホームビジット
- (3) 海外ボランティア活動への支援事業
- (4) 災害時救援金募金・リサイクルバザー



ゆかた着付け教室



料理交流会

## <広報委員会>

協会広報を通して、事業案内や活動情報を提供し、国際協力の啓発と事業への参加を促進するのが目的です。

- (1) 会員の募集・啓発活動をします。  
 広報紙やパンフレットなどの発行・PR活動・  
 他の国際交流団体との情報交換や連携など
- (2) 当協会広報TCA-NEWSを発行しています。  
 年3回発行
- (3) ホームページによる情報提供



TCA-NEWS



協会ホームページ

## <国際教養委員会>

- (1) 一般研修講座（13講座）
- (2) ディスカバー富山

人が一人では生きられない様に、国も外国との交流・交易が無くては存立出来ません。外交や交易・交流等とは即ち異国人との対話そのものです。相手が善意の地球市民であるならば、人はお互いに「何時でも」「誰とでも」「すぐに」「良いお友達」になれます。

当委員会は、絶えずそのような意識の下に活動を続けています。単に交流相手国の地理や歴史を知るだけなら、本を読んだ方が手っ取り早く、より正確に内容を把握出来ます。しかしながら、それだけでは畳の上で水泳の練習をしている様なもので、中に「人の交流＝気持」が入っていないので心が動きません、相手国を知ったことにはならないと思います。

良き地球市民となるためにも、我々はもっと国連の役割や仕組等についても勉強しておく必要があります。



ディスカバー富山



多国言語文化交流クラス

| 講座/クラス名                  | 日時（4月開講）             |
|--------------------------|----------------------|
| 1 国際理解のための時事英語クラス        | 毎月第2土（10:00～12:00）   |
| 2 日本文化を英語で語るクラス          | 毎月第3土（10:00～12:00）   |
| 3 英語通訳・ガイド実践クラス          | 毎月第4土（10:00～12:00）   |
| 4 英語スピーチと討論の会（ESD）       | 毎月第2火（18:30～20:00）   |
| 5 英語で自由に語り合う会（EES）       | 毎月第4火（18:30～20:00）   |
| 6 中国語入門クラスA              | 毎月第1土（10:00～12:00）   |
| 7 中国語入門クラスB              | 毎月第2土（10:00～12:00）   |
| 8 中国語初級ヒアリングクラス          | 毎月第3土（13:30～15:30）   |
| 9 中国語実践会話クラス             | 毎月第4土（10:00～12:00）   |
| 10 韓国語会話クラス              | 毎月第2土（13:30～15:00）   |
| 11 ロシア語入門・初級クラス          | 毎月第2土（13:00～15:00）   |
| 12 日本語ボランティア養成講座（春・秋クラス） | 毎月第1、3木（10:30～12:00） |
| 13 多国言語文化交流クラス           | 毎月第1土（13:30～15:00）   |

# 国際交流・国際協力

## 1 家庭で眠っている衣類をブラジルへ送りませんか

富山市の姉妹都市モジ・ダス・クルーゼス市の保育所維持費と児童養育資金協力活動として、平成5年8月から家庭で眠っている「衣類をブラジルへ送りませんか」のキャンペーンを展開し、9万3千点集まりました。分類された段ボール箱は、10月25日に船便で発送されました。届いた衣類は、モジ・ダス・クルーゼス市の社会救済サービス「SEMAS」によりバザーで販売され、収益は貧困市民への救済プロジェクトの実施に充てられました。

平成7年度に再度キャンペーンを展開し、平成8年2月8日に船便で送りました。

### GERAL Toyama faz doação de roupas a Mogi

Sensibilizada com os problemas enfrentados pela população carente de Mogi das Cruzes, a cidade de Toyama, no Japão, atendeu a um pedido de ajuda da Prefeitura local e enviou um lote de 93.129 peças de roupas semi-novas, que devem chegar ao município nas próximas semanas. Toyama é considerada cidade-irmã de Mogi e diversas outras vezes já enviou ajuda para lá. Outra vez, por iniciativa do prefeito Masahashi Shuichi, com apoio da Associação de Intercâmbio Internacional do Povo de Toyama e aprovação da Câmara Municipal, está sendo enviadas roupas para homens, mulheres e crianças, que serão vendidas em bazar a ser montado no salão do Bazar do Serviço Municipal de Assistência Social (SEMAS). A renda...



**富山、衣類をモジに寄贈**  
当市の援助懇請に応じて日本の富山市から中古衣類が救世のうちに到着する。富山市は今まで何回も当市に援助を差し延べた。今回は正橋正一市長のイニシアティブで富山市民国際交流協会の支援と市議会の承認を得て送られて来る。衣類は「SEMAS」によりバザーで販売され、収益は貧困市民への救済プロジェクトの実施にあてられる。

- ・ 貧困者用収容施設の建設(2棟)
  - ・ 市民統合と社会行動プロジェクトの実施
  - ・ ガルダミンを増やすこと
  - ・ 路上で生活する児童はいなくなり他の運動、行動を学ぶチャンスもできる——と……。
- 注：ガルダミンとは困窮者の子供に店番、ポーター、簡単な手作業等の職を与え、働きながら義務教育も受けさせる制度。



衣類を分類

## 2 モジ市へ古本を送ろう

平成7年度にはボランティア委員会が中心となって、モジ・ダス・クルーゼス市へ日本のおとぎ話の絵本やおもちゃを贈りました。モジ市内の知的障害者施設の子ども達から礼状と写真が届きました。

平成11年10月には、姉妹都市提携20周年記念式典に出席されたモジ・ダス・クルーゼス市訪問団の方々より「日本語の本がほしい」との依頼があり、文庫本、ミステリー、エッセー、小説などをモジ文化協会へ送りました。



モジ市の子ども達

## 3 友好親善奨学事業

秦皇市富山市民国際交流協会設立を機に、平成7年度から平成16年度までの10年間、中国秦皇島市人民対外友好協会へ友好親善奨学金を贈呈しました。



奨学金を贈呈

## 4 ダーラム市富山市姉妹都市パビリオン建設資金募金活動

平成16年2月から建設資金募金活動を実施し、ダーラム市へ送金しました。平成19年度の海外研修でダーラム市を訪問し、デューク大学構内のアジア樹木園に完成したパビリオン（日本風茶室）の落成式に出席しました。



デューク大学構内の茶室



茶室前で行われた落成式

## 5 ウェリントンカウンスル日本庭園看板寄贈

旧大沢野町の少年少女海外派遣訪問を記念して、平成11年11月にオーストラリアウェリントンカウンスルに寄贈した日本庭園（大沢野町日本庭園）が完成しました。

その後、平成17年旧大沢野が合併し、新しい「富山市」誕生に伴い、富山市大沢野日本庭園に名称が変更になりました。

平成24年には、姉妹都市提携20周年を記念して「富山市民親善訪問団」を一般募集し、訪問した際に、新しい名称の庭園看板を取り付けました。庭園内の池には鯉が放されており、藤棚等日本的なものもありました。



平成11年訪問



平成24年訪問

## 6 友好訪問団歓迎事業

富山市を訪問された友好訪問団一行などの歓迎会をその都度開催し、さらに絆を深めています。



秦皇島市訪問団歓迎会



ダーラム市訪問団歓迎会

## 7 海外ボランティア活動への支援事業

古切手を収集し、富山県ボランティアセンターに寄附しています。



古切手を寄附

## 8 救援金募金

バザーの収益等を、被災した国へ日本赤十字社を通じ寄附しています。

# 国内外研修について

## ◇国内研修

| 実施回 | 年 度   | 研 修 会   | 参加者(人) |
|-----|-------|---|--------|
| 第1回 | 平成5年度 | 公益財団法人大垣国際交流協会  | 19     |
| 2   | 6     | 鯖江市国際交流協会   | 17     |
| 3   | 7     | 浦安市の国際交流を学ぼう(富山市国際交流センター)   | 35     |
| 4   | 8     | 国際交流担い手ネットワーク会議(呉羽ハイツ)  | 24     |
| 5   | 9     | 公益財団法人大阪国際交流センター、公益財団法人京都市国際交流協会                                  | 19     |
| 6   | 10    | 庄内町国際交流協会   | 21     |
| 7   | 11    | 公益財団法人豊田市国際交流協会   | 13     |
| 8   | 12    | 浦安市国際交流協会   | 21     |
| 9   | 13    | 公益社団法人上越国際交流協会、公益財団法人新潟市国際交流協会                                    | 17     |
| 10  | 14    | 公益財団法人三鷹国際交流協会、公益財団法人武蔵野市国際交流協会                                   | 22     |
| 11  | 15    | 特定非営利活動法人多文化共生センター、特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会                           | 26     |
| 12  | 16    | 静岡市国際交流協会、公益財団法人静岡県国際交流協会   | 25     |
| 13  | 17    | 公益財団法人名古屋国際センター   | 25     |
| 14  | 18    | 特定非営利活動法人可児市国際交流協会、ばら教室KAN I                                      | 11     |
| 15  | 19    | 公益財団法人かながわ国際交流財団、公益財団法人横浜市国際交流協会                                  | 26     |
| 16  | 20    | 公益財団法人京都府国際センター、公益財団法人京都市国際交流協会                                   | 23     |
| 17  | 21    | 独立行政法人国際協力機構北陸支部(JICA北陸)、公益財団法人石川県国際交流協会、公益財団法人金沢国際交流財団、小松市国際交流協会 | 24     |
| 18  | 22    | 四日市市文化国際課、公益財団法人四日市市文化まちづくり財団(四日市国際交流センター)                        | 19     |
| 19  | 23    | 公益財団法人滋賀県国際協会、滋賀県観光交流局国際室   | 22     |
| 20  | 24    | 長岡市国際交流センター、公益財団法人柏崎地域国際化協会                                       | 21     |

## 会員数の推移

| 区分    | 年度 | 平成5年3月末  | 平成5年度 | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12       | 13  |
|-------|----|----------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|-----|
| 個人(人) |    | 326      | 356   | 365 | 432 | 438 | 486 | 527 | 551 | 569      | 562 |
| 家族(組) |    |          |       |     |     |     |     |     |     | 4        | 23  |
| 団体・法人 |    | 46       | 60    | 69  | 64  | 71  | 72  | 65  | 63  | 61       | 60  |
| 備 考   |    | 平成5年1月設立 |       |     |     |     |     |     |     | 家族会員制度新設 |     |

※総会資料の収支決算報告に基づく

### ◇海外研修

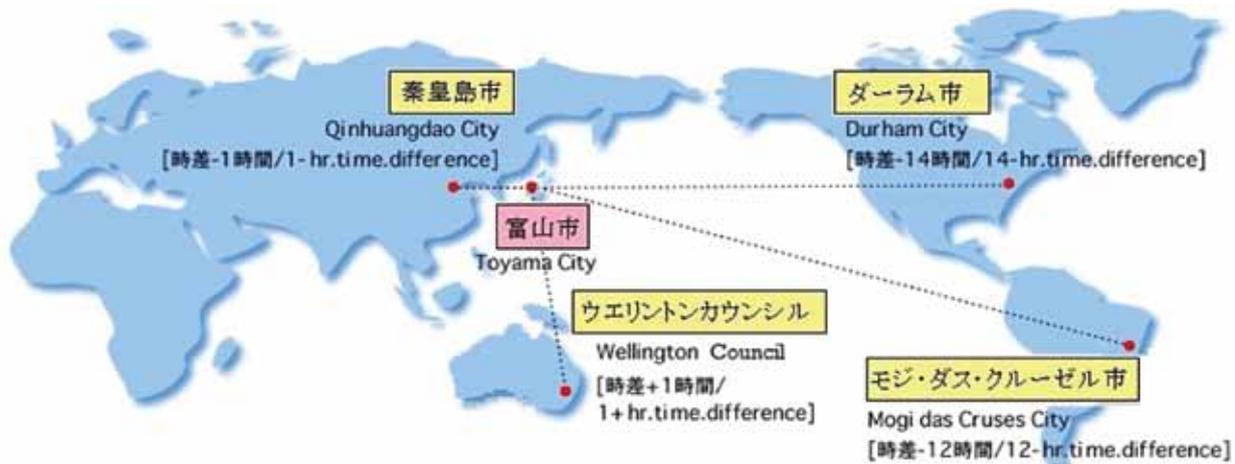
| 実施回 | 年 度   | 研 修 先   | 参加者(人) |
|-----|-------|---|--------|
| 第1回 | 平成6年度 | 米国（ダーラム、ワシントン、ニューヨーク）<br>姉妹都市提携5周年記念                              | 26     |
| 2   | 7     | 中国（秦皇島、北京、上海）<br>「富山市民国際交流協会・秦皇島市対外友好協会友好親善奨学金に関する協定書」の調印式        | 26     |
| 3   | 8     | タイ（バンコク）・シンガポール<br>YKKタイ社視察、星日文化協会・日本語学院と交流                       | 15     |
| 4   | 9     | 韓国（昌原、ソウル、釜山、慶州）<br>慶尚南道昌原市を表敬訪問、慶尚南道韓日親善協会と交流                    | 12     |
| 5   | 10    | 中国（秦皇島、北京、上海、天津、西安）<br>囲碁交流                                       | 24     |
| 6   | 11    | マレーシア（クアラルンプール、マラッカ）<br>マレーシア日本語協会と交流、立山オートマシンマレーシア視察             | 25     |
| 7   | 12    | ハワイ（ホノルル）<br>ハワイ日系人連合協会と交流、ハワイ日本文化センター・<br>（財）ハワイ日本人学校「レインボー学園」視察 | 19     |
| 8   | 14    | 中国（秦皇島、北京、大連、瀋陽）<br>協会設立10周年記念                                    | 18     |
| 9   | 15    | オーストラリア（ゴールドコースト、シドニー）<br>豪日協会と交流                                 | 17     |
| 10  | 17    | 台湾（台北、台南、高雄、台中）<br>亜東関係協会を表敬訪問、日橋台日文化交流会と交流・双連養老センター視察            | 25     |
| 11  | 18    | 中国（秦皇島、上海、黄龍、九寨溝、成都）<br>友好都市締結25周年記念                              | 26     |
| 12  | 19    | 米国（ダーラム、ワシントン、ニューヨーク）<br>ダーラム市デューク大学構内のパビリオン（日本風茶室）落成式出席          | 14     |
| 13  | 21    | マレーシア（クアラルンプール）<br>マラヤ大学学生と交流・立山オートマシンマレーシア                       | 20     |
| 14  | 24    | オーストラリア（ウエリントンカウンシル、カウラ、シドニー、メルボルン）<br>姉妹都市提携20周年記念               | 30     |

| 区分 \ 年度 | 平成14年度 | 15  | 16  | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  |
|---------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 個人(人)   | 532    | 492 | 519 | 484 | 458 | 426 | 406 | 458 | 445 | 437 | 445 |
| 家族(組)   | 32     | 30  | 37  | 40  | 37  | 38  | 34  | 35  | 30  | 25  | 23  |
| 団体・法人   | 60     | 52  | 52  | 52  | 50  | 50  | 46  | 43  | 41  | 41  | 42  |
| 備 考     |        |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |

# 富山市の姉妹友好都市について

経済・産業・医療・文化などさまざまな分野で、姉妹友好都市と積極的に交流し、市民レベルの国際交流からグローバル社会に対応した国際感覚豊かな人材の育成に力を注いでいます。

また、海外の人たちを積極的に受け入れると同時に、富山からも数多くの人達を海外へ派遣。語学や文化、技術力の向上など、諸国との相互の発展につなげています。



| ブラジル連邦共和国<br>サンパウロ州   | 中華人民共和国<br>河北省   | アメリカ合衆国<br>ノースカロライナ州  | オーストラリア連邦<br>ニューサウスウェールズ州   |
|---|--|---|---|
|  |     |         |  |
| モジ・ダス・クルーゼス市  | 秦皇島市   | ダーラム市   | ウエリントンカウンシル   |
| 提携年月日：<br>1979年11月8日  | 締結年月日：<br>1981年5月7日  | 提携年月日：<br>1989年6月13日  | 提携年月日：<br>1992年8月24日  |
| 人口約38万人の学園都市。1560年ポルトガルの探検家が駐屯地を置いたことに始まる。農業を中心に発展し、養鶏は南米最大の生産地。水利と電力に恵まれ工業も発展。     | 紀元前の秦の始皇帝に由来する人口約299万人の中国有数のエネルギー輸出港湾都市。華北と東北を結ぶ交通の要衝でもあり、万里の長城の東の起点である山海関や避暑地の北戴河は有名。 | 州の中心に位置する人口約21万人の中核都市。「全米の医学都市」といわれ、保健・医療研究などの第三次産業が主要産業。「リサーチ・トライアングル・パーク」は、全世界から注目を集めている。 | 鍾乳洞は主な自然観光地で、人口約1万人の自然豊かな都市。農業畜産業が主な収入源になっている。公園や庭園が有名で、特にカメロン公園は多くの賞を受けている。          |
|  |     |         |  |
| マルコ広場   | 老龍頭の鷹角亭  | デューク大学  | ウエリントンカウンシル<br>自然公園   |

# 関係者のメッセージ

## (公財)とやま国際センター

富山市民国際交流協会は、国際理解・国際交流・多文化共生の地域づくりを目標に活動を重ねられ20周年を迎えられました。誠にありがとうございます。

貴協会では、市民ボランティアが企画から運営まで参画されている点が大きな特色です。そして委員会組織は20年をかけて協会運営の要として大きな役割を果たされています。

今後も市民が主役の運営で益々活発な活動を展開されますことを祈念しております。

## アジアの仲間たちの会

私たちの会の思いや企画を発信できる所として、大変、頼りにしています。

今、世界中で人の流れが複雑にスピーディになっており、多様な情報や繋がりが、即必要になってきています。

国際交流協会が、もっと広く一般の人に身近な存在であることを知ってもらえると良いですね。(20周年・成人式の思いです)

## 青年海外協力隊 富山県OB会

関わりは、国際交流フェスティバルへの参加がきっかけです。思えば、富山市民プラザでやっていたころ、規模も大きく、楽しかった記憶があります。時代の流れでしょうか、年々、規模が縮小していくのは残念です。

今後も、青年海外協力隊事業のPRと応募促進に努め、OV(JICAボランティア経験者)の社会還元活動の一環としたいです。また、これをきっかけとして、国際社会の中で、日本の役目を、県民・市民の皆様とともに、考えていければ幸いです。

## 富山県青年国際交流機構

国際交流・多文化共生推進へ向けてのコア組織として、いつも私達団体への後方支援をありがとうございます。特に国際交流フェスティバルやホームステイ受入れでは、いつもお世話になっております。

20周年を迎えるにあたり、貴協会の益々のご発展をお祈りしております。

## 独立行政法人 国際協力機構 北陸支部 (JICA 北陸)

国際フェスティバルでは共催団体の一員として、毎年楽しく参加させていただきありがとうございます。

今後も益々貴会が発展され、国際交流が盛んになりますよう期待申し上げます。

## ウイメンズ ウイング トヤマ

私たち、ウイメンズ ウイング トヤマ(W.W.T.)も一緒に20周年を迎えました。

W.W.T.は、平成4年第1回富山市民海外派遣事業に始まり参加した団員たちが「国内外の人たちと友好親善に努め地域社会の発展に貢献する」を目的として発足しました。富山市民国際交流協会の発足に協力し活動をすすめて来ました。

あの産業奨励館跡(図書館1F)のガランとしたセンターを、みんなで飾りつけたりしていた頃がなつかしく思い出されます。

## NPO 法人 地球映像ネットワーク

地球映像ネットワークでは、2年に1度富山で「世界自然・野生生物映像祭」を開催しています。

映像祭当日には、観客はもちろん、世界各国から映像作家や関係者が一堂に集まります。その際、富山市民国際交流協会様からはバイリンガルボランティアをご紹介頂いたり、センターをワークショップの会場として使用させて頂いたり、多大なご協力を頂いております。これからも積極的に国際交流の場を盛り上げていきたいと思います。

## 富山県日韓親善協会

貴協会との関係は早いもので20周年になります。

最初は事務局長の松岡一さんが私たちの協会会員だった事から始まり、私たち協会の友好協会である韓国慶昌南道の女性コーラスの方がフェスティバルに参加して頂いてからだったと思います。

## UNEP NOWPAP RCU富山事務所

富山市民国際交流協会の設立20周年の祝賀にあたり、心からお祝いを申し上げます。

これまでに様々な国や人々を繋ぐ懸け橋となるべく御尽力されて来られたことや、富山市におけるNOWPAPの広報活動にご助力いただきまして、深く御礼を申し上げます。

今後の更なる飛躍を遂げられますよう祈念しまして祝辞といたします。

## 国際ソロプチミスト富山

国際交流フェスティバルにおいて、遊休品のバザーをすることでお世話になっています。当日は多くの外国人と触れ合い、自然に国際親善もできる貴重な時間です。国際相互理解を深めるためにも、これからもよろしく。

## 富山県カンボジア王国親善協会

当協会の初の試みとして、昨年7月28日～8月7日に掛けて、カンボジア王国の青少年男女5名を富山に招待し、いわゆるホームステイを実行した。

この種の事業は毎年見聞きをしているが、全員カタコトの日本語を話し、その前途に掛ける実直真摯な姿には、ついホロリと涙しエールを送らざるを得なかった。ガンバレ!

## 富山ロシア協会

富山市民プラザ前の通りにテントを張って民芸品を販売していた頃から貴協会と関わりをもっています。手作りの雰囲気国際交流に魅せられて、このフェスティバルに参加する為、訪日の日程を組むことがここ数年ロシア側の恒例となっています。今年は多くの子供たちが参加する予定です。

彼らが日本人をはじめ多くの外国人の前で出し物を披露し、視野を広げる機会になればと思います。今後もこの伝統が続くことを祈念します。

## 日本語教師会ゆうゆう

国際交流フェスティバルや日本語ボランティア養成講座など、これからも連携を図り多文化共生事業や日本語教育事業に力を注いでいきたいと思っております。今後ますますのご発展を心からお祈りしております。

## 姉妹友好都市委員会

富山市では、姉妹友好都市締結を結んでいる国は4カ国です。

平成24年には締結20周年を記念して、オーストラリア ウェリントンカウンシルを訪問してまいりました。一般的な観光海外旅行と違って、両都市との絆を深める楽しい研修旅行でした。

今後はもっと広く在住外国人との多文化共生に向けての活動事業も重要な事と思っています。いずれにせよ国内・国外バランスのとれた活動を多くの市民と一緒に続けて参りたいものと考えています。

## 広報委員会

以前の手作業による編集作業が、パソコン使用で簡単に処理できる現在は、編集作業も楽になり広報委員としては嬉しい限りです。原稿など委員の皆様のご協力に感謝しています。

## 外国人相談員(中国)

14年前富山にきました。当時富山に知り合いが一人も居なかったため、電話帳で国際交流協会を探して連絡しました。実家のようにいろいろ助けて戴きました。富山市民国際交流協会のおかげで外国人が心強く、楽しく、安心できる生活を過ごせます。

これからも、富山市民国際交流協会が一層活躍されるよう富山在住の私達外国人もできるだけお役に立つよう努力していきたいです。

## 外国人相談員(ブラジル)

最初に日本で暮らした町には、外国人支援をしているところがありませんでした。日本語が話せなくて生活や仕事は不安で、一所懸命日本語を勉強しました。富山に来た時には、外国人相談窓口として協会を紹介してもらいました。今は、外国人相談員として仕事やボランティアをしています。外国人のためにも、これからの富山市民国際交流協会のお役にたてたらと思います。

## 勉強お助け隊

勉強お助け隊(外国籍児童・生徒学習支援)で印象に残った子の話

義理の祖母と夕飯づくりを通して家族になろうとした彼女は、レシピを教材とする会話練習を始めた。それから4年、9月からシンガポールの料理専門学校に入ると言う。タガログ語・英語・日本語のシェフ誕生である。

## 文化交流委員会

伝統文化である茶道や生け花、書道など委員の趣味や特技を活かした講座を実施しています。

また、日帰り研修会やボーリング大会等のスポーツ交流を通じて外国人の方々との親睦を深めています。今後、いかに交流から共生へ深化していくかが文化交流委員会の課題です。

## 国際教養委員会

外国の方々とのコミュニケーションをとるには先ず語学が必要!との事で国際教養委員会の講座で語学を学び、各イベントを通じ実践しています。異国富山で暮らしておられる方々に少しでもお力になれればいいのですが…。

## 英語講座講師

The TCA has been an important source of survival for me here in Toyama. I could come to the city international center and get help from staff and volunteers whenever I needed help with something. I could come to TCA for Japanese classes. I could enjoy many events and make many friends at the events. I could learn a great deal about Japanese culture from everyone. The TCA organization is indispensable, and it must grow in order for Toyama to continue to be the wonderful town that it is.

TCAは、ここ富山で生活していく上で大切な存在です。必要な時は、いつでもスタッフやボランティアの人たちが助けてくださいます。また、日本語の勉強もできます。様々なイベントに参加して、たくさんの友達を作ることができました。みなさんから日本文化についても学びました。富山がすばらしい都市であり続けるためにも、協会の発展をお祈りします。

## 総務企画委員会

2年前に入会し、中国語講座やイベントに参加しています。

これまでの横のつながりだけが縦となり、さらに異国ともつながり今となってはもっと早くから入会しておけば良かったと悔やんでいます。設立に携われた方々に、感謝いたします。

## ボランティア委員会

ボランティア委員会の一員として海外から来富している主婦さんを見ると話しかけをし、校区の保健推進員さんや保健婦さんへの橋渡しをしています。

また、日本料理や着付け教室等を行い、富山まつりには自分で「ゆかた」を着て参加できるように指導も致します。日本の文化と習慣にふれ合って頂ければと思い頑張っています。

## 中国語講座講師

中国語講師として十数年、富山市民国際交流協会において皆さんと一緒に過ごしてまいりました。特にここ数年、「実践中国語会話」クラスでさまざまな話題が盛り上がっています。

20周年の協会はこれからも国際交流の「橋」として発展していくことをお祈りします。

# 富山市民国際交流協会規約

## (名 称)

第1条 この会は、富山市民国際交流協会（以下「協会」という。）と称する。

## (事 務 所)

第2条 協会の事務所は、富山市新富町一丁目2番3号に置く。

## (目 的)

第3条 協会は、富山市民と諸外国の人々による友好親善を基調として、教育、文化、スポーツ、産業経済等の広範な国際交流を推進し、国際感覚豊かな人材の育成と国際化に対応したまちづくりを図り、もって富山市の発展に寄与することを目的とする。

## (事 業)

第4条 協会は、前条に規定する目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 姉妹友好都市との市民交流事業
- (2) 国際交流に関する事業の計画及び実施
- (3) 国際交流に関する情報の収集・提供及び調査研究
- (4) 国際交流団体との連携及び協力
- (5) 国際交流ボランティアの育成
- (6) 市民の国際交流活動への支援
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

## (会員の種類及び会費)

第5条 協会の会員の種類及び会費は、次に掲げるとおりとする。

- |             |    |    |         |
|-------------|----|----|---------|
| (1) 個人会員    | 年額 | 1口 | 3,000円  |
| (2) 家族会員    | 年額 | 1口 | 5,000円  |
| (3) 団体・法人会員 | 年額 | 1口 | 10,000円 |

## (役 員)

第6条 協会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1人
- (2) 副会長 3人以内
- (3) 理 事 30人以内
- (4) 監 事 2人

## (名誉顧問、顧問及び参与)

第7条 協会に名誉顧問、顧問及び参与を置くことができる。

- 2 名誉顧問、顧問及び参与は、理事会の承認を経て会長が委嘱する。
- 3 名誉顧問、顧問及び参与は、協会の運営に関し助言する。

## (役員を選任等)

第8条 役員のうち、理事及び監事は総会において会員の中から選任し、会長及び副会長は理事会において互選する。

- 2 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

## (役員職務)

第9条 役員職務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 会長は、協会を代表し、会務を総理するとともに、理事会及び総会の議長となる。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指定した順序により、その職務を代理する。
- (3) 理事は、理事会を構成し、協会の運営について協議する。
- (4) 監事は、協会の会計を監査する。

## (役員任期)

第10条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

## (総 会)

第11条 総会は、年1回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めるとき、又は会員の3分の1以上の者から請求があったときは、臨時に開催することができる。

2 総会は、第8条に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

- (1) 規約の制定及び改廃
- (2) 事業計画及び収支予算の承認
- (3) 事業報告及び収支決算の承認
- (4) その他協会の運営に関する重要な事項

3 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

## (理事会)

第12条 理事会は、この規約で別に定めるもののほか、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他会長が必要と認められた重要な会務

2 理事会は、会長が必要と認めるときに招集する。

3 会長は、理事会の会議に必要なと認めるときは、関係者の出席を求めることができる。

## (専門委員会)

第13条 会長は、協会の事業を推進するため、理事会の承認を経て、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会は、それぞれの所管ごとに事業を企画・立案し、その実施に当たる。

3 専門委員会に委員長及び副委員長を置く。

4 前項の委員長及び副委員長は、専門委員会において互選する。

5 委員長及び副委員長の任期は、1期2年とし、3期を限度とする。

6 第10条第2項及び第3項の規定は、第3項の委員長及び副委員長について準用する。

7 第3項の委員長は、第8条第1項の規定にかかわらず、その任期の間、協会の理事を兼ねるものとする。

8 前各項に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を経て別に定める。

## (経 費)

第14条 協会の経費は、会費、寄附金、補助金その他の収入をもって充てる。

## (会計年度)

第15条 協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## (事務局)

第16条 協会の事務を処理するため、協会に事務局を置く。

2 事務局に、事務局長その他必要な職員を置くことができる。

## (委 任)

第17条 この規約に定めるもののほか、協会の運営に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を経て別に定める。

## 附 則

1 この規約は、平成5年1月13日から施行する。

2 協会の設立当初の役員は、第8条第1項の規定にかかわらず、別表のとおりとし、その任期は、第10条第1項の規定にかかわらず、平成6年3月31日までとする。

3 協会の設立当初の会計年度は、第15条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成5年3月31日までとする。

4 第13条第3項に規定する専門委員会の委員長の職に新たに就任する者については、第8条第1項の規定にかかわらず、その者が委員長の職に就任する日から同項の規定により総会において理事に選任される日までの間は、理事に選任されたものとみなす。

5 第13条第5項の任期の計算は、平成14年4月1日以降に委員長に就任したものから適用する。

平成12年5月10日一部改正

平成14年5月18日一部改正

平成16年5月15日一部改正



